

森之宮地域及び中浜地域における学校配置の適正化について(案)

○ 現 状 (平成 28 年 5 月 1 日現在、学校現況調査)

森之宮小学校	児童数 90 名	学級数 6
中浜小学校	児童数 213 名	学級数 7

○ 大阪市の学校適正配置の方針と両小学校の位置づけ

大阪市では、大阪市適正配置審議会における平成 22 年 2 月「今後の学校配置の適正化の進め方について（答申）」に基づき、児童の良好な教育環境の確保、教育活動の充実を図ることを目的として、学校配置の適正化の取組みを進めている。

(同答申に基づく学校適正配置の対象校)

- ・毎年 5 月 1 日現在の学校現況調査において、11 学級以下の小学校（答申の分類①～⑥に該当するもの）を適正配置の対象とする。
- ・優先順位については、分類の①、②を最優先に取組むべき学校とする。
- ・それ以外（分類③～⑥）は原則として、小規模化が進んでいる学校や、将来推計において小規模化が進むことが見込まれる学校から、区長と教育委員会が連携し、地域を主体とする適正化の取組みを検討する。

◆適正配置対象校の分類

- ① 複式学級を有する小学校、もしくは複式学級を有してはいないものの、全ての学年の児童数が 20 名未満であり児童の男女比率に著しい偏りがある学年を有する小学校
- ② ①には該当しないが、児童数が 120 名を下回る状況であり、今後とも児童数が 120 名以上に増加する見込みが立っていない小学校
- ③ 現在児童数が 120 名以上の状況ではあるが、今後児童数が 120 名を下回ることが見込まれる小学校
- ④ ①～③には該当しないが、今後とも全学年単学級の状況にあると見込まれる小学校
- ⑤ 現在 7 学級以上 11 学級以下の状況ではあるが、今後全学年単学級の状況になることが見込まれる小学校
- ⑥ 今後、7 学級以上 11 学級以下の状況にあると見込まれる小学校

(両小学校の位置づけ)

- 森之宮小学校については分類②に、中浜小学校については分類⑥に位置付けられる。

○ 具体的な学校配置の適正化の方針

- 森之宮小学校では、小規模校としての制約がある中で、メリットを活かし、デメリットを最小限にするためのさまざまな工夫を凝らしながら学校運営をされており、地域の方々の森之宮小学校に対する満足度も高い。
- しかしながら、森之宮小学校において小規模な状況が今後も継続していくと予想されることも事実であり、この先、例えば男女比が極端に偏った学級が生じ、児童が負担を訴えるなど、学校の工夫や努力では解決し難い状況が生じる可能性は否定できない。
- 中浜小学校においても、森之宮小学校と同様、様々な工夫を凝らしながら学校運営されており、現在、大きな課題が生じているとは考えていない。
- しかしながら、単学級の学年が増えつつあることも事実であり、児童数が減少すれば、目が行き届くなどのメリットがある一方で、教員の数が減少し、運動会等、学校活動における行事や業務は、学校規模に関わらず、基本的にはどの学校も同様であることから、徐々にではあるが、学校運営への影響が出る可能性がある。
- このような両校の状況を受け、児童数を考慮して大幅な校舎工事等を要しない中浜小学校の校舎・敷地を活用し、両小学校を統合する方向で検討を進めたい。

○ 具体的な検討・準備の進め方

- 学校配置の適正化を円滑に進めるためには、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠である。
- 未来を担う児童の将来のために、子どもたちのより良好な教育環境を構築するといった観点で、地域・保護者と区役所、教育委員会が一丸となって取組みを進めていく必要がある。
- 具体的には、両校の保護者や地域の代表との意見交換や課題検討、保護者説明会等を通じての意見聴取等を行い、統合に向けた共通理解や課題整理、必要な準備等を進めていきたい。

○ 目標年次

- 上記の検討・準備を計画的に進めていく必要があることを考慮し、平成31年4月に両校統合を目指して、検討・準備を進める。